



“キッチン篇”

家族の食事をつくり、健康を支えるキッチンは、掃除にかかる時間や箇所も多く、住まいの中でも、清潔に保つ意識が高い場所であることがうかがえます。一方で、油污れ、水アカ、ヌメリといったさまざまなタイプの汚れに対しては、年代や掃除頻度による差がみられます。

Q1 おそうじにかかる時間は？

年代が上がるほど“30分以上”掃除をする割合が高い！

20代～50代では、**年代が上がるにつれ掃除の時間が長くなり**、特に“30分以上”の回答は、20代が約2割に対し、50代では5割以上にものぼり、年代によって大きな差があることがわかりました。

平均
25分

Q2 普段おそうじをする場所は？

掃除頻度が高い層ほど、掃除の箇所も多くなる！

調理に関わるコンロまわりやシンク、床は9割以上の人が普段から掃除をしています。また、**掃除の頻度が高い層ほど**、壁や天井など**掃除箇所も多くなっています**。

1位
コンロ・
コンロ
まわり

2位
シンク・
シンク
まわり

3位
床

Q3 使用する洗剤・道具の数は？

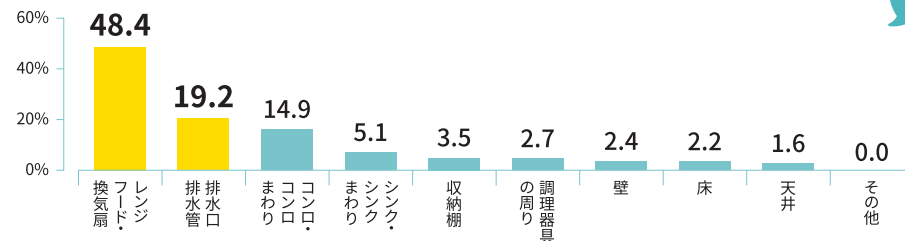
年齢層が高いほど、使用する洗剤・道具が増える！

使用する洗剤や道具の数は、年代が上がるにつれ多くなっています。さらに、**掃除頻度の高い層では使用する洗剤の種類も増え、用途に応じて使い分けしている傾向**にあります。

4人に一人
が「重曹」を使用！

洗剤・道具の
使用個数は
平均5.9個！

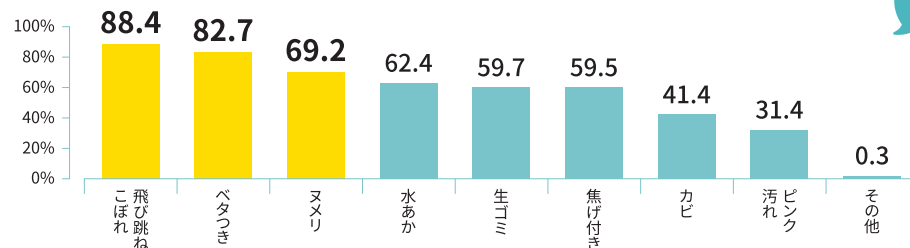
Q4 苦手なおそうじ場所は？



半数近くの方が、レンジフードのそうじが苦手！

最も掃除のしにくい場所としてあがった「レンジフード・換気扇」。年代別では、20代～40代が4割、50代は5割、60代が6割と、**年齢を重ねるごとに高い場所、労力のかかる掃除に負担を感じる**ようです。また、「排水口・排水管」は、60代が1割を切っているのに対して、20代は3割以上となり、「苦手な場所」の1位と2位で真逆の傾向がみられました。

Q5 おそうじの際に気になる汚れは？



飛び跳ね、こぼれ、ベタつきが気になるのは8割以上！

「飛び跳ね・こぼれ」は9割近く、「ベタつき」も8割以上と、**油分や水分の汚れは掃除の際に多くの方が気にしており**、掃除の頻度が高い層ほど割合も増えています。次いであがった「ヌメリ」に関しても7割近い回答がありましたが、他の年代に比べて**30代～40代が多く、水アカ、カビ、ピンク汚れといった水まわりの汚れが気になる傾向**にあるようです。